

章	項目	内容
＜1 方針策定の目的＞	<input type="checkbox"/> 歴史的資産とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度年数を経た物や活動などで、学術的な価値や、特徴があったり、地域に親しまれていたりするもの ・建造物、土木構造物、文書、民具、埋蔵・・・
	<input type="checkbox"/> 背景（なぜ文化財や歴史的資産を残していくことが大事なのか）	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財や指定されていない歴史的資産は札幌を札幌らしくしている宝の一つ ・まちの歴史を知る上で、大切なもの ・これからを考えるヒントになるもの ・くらしを豊かにするもの
	<input type="checkbox"/> 目的	<ul style="list-style-type: none"> ・後世まで数多く継承されていくように、多くの人に存在を知ってもらう ・それぞれの立場で何ができるのか、考えてもらえるきっかけをつくる ・まちづくりに活かす <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的資産を将来に残していく
	<input type="checkbox"/> 行政上の位置づけ	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプラン 2015 ・文化芸術基本計画
＜2-1 札幌市の歴史的資産＞	<input type="checkbox"/> 既知の資産	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財・登録文化財 ・埋蔵文化財 ・ふるさと文化百選 ・景観資産 ・北区八十八選 その他
	<input type="checkbox"/> 調査した資産	<ul style="list-style-type: none"> ・建造物（分析結果とマップ） ・土木構造物（概要とマップ） ・歴史資料（概要と各郷土資料館の特徴）
	<input type="checkbox"/> そのほかの資産	<ul style="list-style-type: none"> ・未調査の分野を含め、たくさん眠っているものがあるはずであり、今後追加していきたい。
＜2-2 札幌市の歴史的資産の特徴＞	<input type="checkbox"/> まとまり（群）をつくる理由	<ul style="list-style-type: none"> ・重要文化財のように、一つ一つで価値あるものもあるが、他と関連付けることにより特徴が見えてくる。 ・まとまり（群）で考えることにより、一体感が出て全体の価値が高まる。観光への展開もしやすい（散策、ブ

		<p>ランド化)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとまり(群)に、標題(ストーリー)をつけるとわかりやすい
	<input type="checkbox"/> まとまり(群)の作成手法	<ul style="list-style-type: none"> ・空間的なまとまり(区や昔の村など) ・時代のまとまり(明治期・など) ・キーワード(札幌といえど) ↓ ・札幌らしさ、を表す群であれば、キーワードを中心に空間や時代も加味して考えてはどうか? ・今後も様々な要素や市民からの提案を取り入れるなどして増やしていく
	<input type="checkbox"/> キーワードの例	<p>屯田兵 開拓使 札幌農学校 フロンティア精神 お雇い外国人 和洋折衷建物 札幌軟石 石山 石山通り 煉瓦倉庫 りんご栽培 玉ネギ栽培 定山溪鉄道 豊平川 アイヌビール 苗穂倉庫群 創成川 住宅市電 オリンピック 一番最初のもの、西岡水源地、国鉄、牧場、鮭、温泉、雪、食品の企業、工場、遺跡 狸小路・・・</p>
	<input type="checkbox"/> キーワードで関連付けられる歴史的資産の群、構成要素と導かれるストーリーの例	<ul style="list-style-type: none"> ・例：開拓使関連 ・例：札幌軟石関連 ・例：屯田兵関連 <p>(ストーリー。概要・特徴、構成要素、マップなど)</p>
<3 現状の課題>	<input type="checkbox"/> 存在が知られていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・市内にもいろいろ歴史的資産があることが知られていない。 ・掘り起こしがいる。(未調査分野もある。調査分野も眠っているものがある) ・PRが必要 ・次の世代(子どもたち)にも知ってもらわなければならない ・あることは知っていても、価値が知られていない。(所有者など)
	<input type="checkbox"/> 保存の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・建物では、設備などが古くなってしまい使いづらい。 ・生活の変化や使い方に応じた改修をしたいが、法律の壁がある。 ・維持などに費用がかかる。

	<input type="checkbox"/> 体制・仕組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の変化や使い方に応じた改修をしたいが、やり方がわからない。 ・相談するところがない。
<p><4 歴史的資産の保存・活用の方針（基本的な方向性）></p>	<input type="checkbox"/> 見つける	<ul style="list-style-type: none"> ・掘り起こしてデータベース化 ・価値を見出す
	<input type="checkbox"/> 共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・価値の共有(普及と啓発)
	<input type="checkbox"/> 保存活用の推進（特徴や段階に応じた保存をする）	<ul style="list-style-type: none"> ・そのままの形で残すことが必要なもの、使い続けるものなど状況や性質・価値に応じた保存をしていく。 ・まちづくりや観光へ積極的に活用していく
	<input type="checkbox"/> 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・関わる人を増やす、専門家やぶち知識人を育てる
	<input type="checkbox"/> 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・役割分担して、連携・協力してみんなで支える
<p><4 歴史的資産の保存・活用の方針（主な取組）></p> <p>※時間をかけて取り組む事柄と短期的にできること、していることをかき分けて両方記載する</p>	<input type="checkbox"/> 見つける（把握）	<ul style="list-style-type: none"> ・調査 ・ストーリーを増やしていく（価値を高める）。 ・情報を集める。 ・情報を蓄積する。更新する。 ・学術的価値、文化的価値、歴史的価値・・・
	<input type="checkbox"/> 共有する	<ul style="list-style-type: none"> ・HPや冊子などで情報提供・PR ・情報共有の場づくり ・学校教育への活用 ・講座など生涯学習 ・観光ボランティアや観光タクシーの活用
	<input type="checkbox"/> 保存活用の推進（特徴や段階に応じた保存をする）	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口・活動団体の情報提供 ・事例の情報提供 ・費用面 ・観光資源として活用 ・まちあるきマップ・ツアー ・研究 ・制度整備 ・所有文化財の保存(市) ・文化財指・登録の推進
	※例示を載せる	<input type="checkbox"/> 人材育成

	<input type="checkbox"/> 協働	<ul style="list-style-type: none"> ・行政（指定、制度整備、・・・） ・所有者（保存の主体。維持管理、協力・・・） ・活動団体（ ） ・企業・事業者（ ） ・専門家（ ） ・住民・利用者（参加、利用、伝える）
<5 今後に向けて>		

<別冊>

- ・事例（リノベ、修理・・・）
- ・活動団体リスト